

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	新庄市役所 商工観光課 議会事務局
実習期間	平成 30年 8月 23日 ～ 平成 30年 8月 27日
学生氏名	青柳辰郎
実習プログラム	<p>8月23日 8:30～席取り禁止張り紙 10:00～祭りポスター張り 1:05～受付場設置 2:00～駅前コーン設置 3:00～道路標識回転作業</p> <p>8月24日 9:30～案内張り紙張り 13:00～観覧席準備 15:00～物販準備 16:00～物販 21:00～後片付け</p> <p>8月25日 8:30～物販 11:30～物販撤収 13:30～警備 16:45～物品整理</p> <p>8月26日 8:30～片付け 9:30～ゴミ拾い 12:30～鹿子踊準備 13:00～鹿子踊 13:30～ゴミ拾い 15:00～手締め式準備 16:00～手締め式</p> <p>8月27日 8:30～後片付け 13:10～資料読み 13:50～議会場説明 16:00～市議会映像資料</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>指導者の方がやってほしいと感じていることをしっかりと理解し、実行することを意識して取り組んでいくことで、傾聴力が今までよりも身に付いたように感じています。24日と25日の物販では受け身の姿勢で物販をしてしまい、改めて自分の発信力と会話力の低さを理解できたので、今後に生かしていきたいと思っています。</p> <p>組織を運営していくためには、予想外のハプニングに対応する力が必要だと感じました。予定とは違ったことが起きても、臨機応変に対応することが運営する立場に必要なものだと思います。また、そうした事態に備え、予備のものや代わりとなるものなどを用意しておくことが大切だと感じました。そうすることで、万が一にも対応できるのだと感じました。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>私は今回のインターンシップで自らの発信力と会話力のなさを改めて痛感しました。これらを今後改善していくために、これからのグループワークなどの時は今までよりも積極的に自分から発言していきたいと考えています。その中でも、今回の実習で伸びたと感じている傾聴力を活かし、他者の意見をしっかりと理解し聞きつつ、自分の意見を言っていけたらと考えています。</p>
インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力 (300字)	<p>お話をさせていただいたほとんどの方が今のお仕事を本当に好きでやっているということです。この仕事にやりがいを感じているということがお話をさせていただく中で強く伝わってきました。周りがこんな人ばかりだったら、自分も一層仕事が楽しくなると感じました。また、職場の方もおっしゃっていましたが、市役所という、そこまで大きくないところだからこそ、自分の手で政策やプロジェクトを動かしているという実感がとても大きくなるのだと感じました。また、今</p>

回はお忙しいお祭りの期間にお邪魔させていただいたので、日頃の業務とは一味違った体験ができたこともとてもありがたかったです。

写真 (1~3点)



(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	新庄市役所 商工観光課・税務課
実習期間	平成 30年 8月 23日 ～ 平成 30年 8月 27日
学生氏名	小角 崇祥
実習プログラム	8月23日 新庄まつりの準備 8月24日 新庄まつり準備・物販 8月25日 新庄まつり物販・警備 8月26日 新庄まつり準備・ゴミ拾い 8月27日 新庄まつり片付け・税務課ガイダンス等
学び・気づき (300字程度)	準備の大切さが印象に残った。祭りの期間中で通常業務とは異なり、作業が多かったが市役所の役割の大きさを知ることができた。幼い頃から見えてきた祭りの裏は、何か月も前に準備が始められ、当日には商工観光課の方々だけでなく、職員の方々皆さんで協力して祭りが運行されていた。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	改めて公務員として地域のために働きたいと思った。職員の方々は大変さを出さず、いつも笑顔だった。それは自分の仕事に誇りを持っていて、地元が好きだからだと思った。職員の方々の会話から地域の活性化には交流が必要だと思い、将来は地域の交流を考えながら仕事をしたい。そのために今はまず勉強を頑張る。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	職員の方々は皆さんとても接しやすく、作業がしやすかった。また、どのような人材を必要としているか、仕事が求められているか教えていただくことができてよかった。温かく迎えてもらうことができて、記憶に残る貴重な体験をすることができた。
写真 (1～3点)	

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	新庄市役所
実習期間	平成 30年 8月 23日 ～ 平成 30年 8月 27日
学生氏名	早坂康寿
実習プログラム	新庄市役所商工観光課、総務課 祭り準備、実施補助、後片付け
学び・気づき (300字程度)	地元の祭りなので昔から見に行くことや遊びに行くこともあり身近な祭りというイメージでしたが、少しの期間ですが祭りに携わってみると祭りを楽しむ余裕などはなく市民の人の警備や、交通整理が主な仕事でした。祭りというのは楽しむことがメインだと考えていましたが、客として楽しむことができるのはやはり誰かが管理し安全になるよう対処してくれているおかげであることに身をもって体験することができました。また、商工観光課だけでは祭りを安全にできないので地域全部で祭りを盛り上げているのが感じられました。やはりこのようなことは体験しないとわからないことなので自分自身いい経験をしました。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	社会で働くということは、連携が大切だと言うことがわかりました。自分一人ではできることはもちろんありますが、自分だけではできないことの方が多いので友達と協力して学校生活を送りたいです。人に任せすぎることではなく、互いに高めあって目標に近づけるようにしたいです。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	市役所というとお堅いイメージがあると思います。私も行くまではそのように思っていました。しかし、行ってみると自分で企画することで仕事をまかせられることや、自分がやりたいことがあるとその仕事を作ることができると言っていました。堅いというよりも自分のやりたいことができる機関でもあるというのが気づくことができました。難しい話もたくさんありますが職場の皆さん全員がその仕事にまもっていたので連携がうまくいっているんだと思いました。すごく楽しかったです。
写真 (1～3点)	